

全国の情報は国立感染症研究所感染症疫学センターホームページにてご覧ください。 <http://www.nih.go.jp/niid/ia/from-idsc.html>

新型コロナウイルス感染症に関する情報

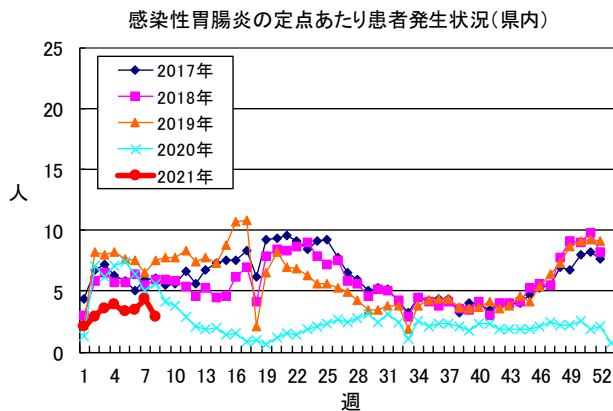
兵庫県内の新型コロナウイルス新規感染者数は、今週 162 人(先週 293 人、先々週 383 人)と減少が継続しています。地域的には、神戸市 42 人、尼崎市及び西宮市が各 26 人、伊丹保健所管内 22 人、姫路市 20 人、加古川保健所管内 6 人、明石市及び宝塚保健所管内が各 5 人、龍野保健所管内 4 人、豊岡保健所管内 3 人、芦屋保健所管内 2 人、加東保健所管内 1 人で、年齢階級別では、50 歳代 23 人、80 歳以上 22 人、40 歳代 21 人、30 歳代 20 人、20 歳代 19 人、60 歳代及び 70 歳代が各 17 人、10 歳代 16 人、10 歳未満 7 人の順で多くなっています。兵庫県では、3 月 1 日に緊急事態宣言が解除されましたが、県内で感染力が強いとされる英国流行の新型コロナウイルス変異株の感染者の割合が増加傾向にあります。変異株のウイルスであっても感染防止対策は従来と同様です。これから年度替わりを控え、人の動きが増えます。今ここで対策を緩めると、感染が再拡大する恐れがあります。引き続き感染防止対策を徹底し、会食を控え、不要不急の外出の自粛をお願いします。 <http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/henikabu.html> から、兵庫県「新型コロナウイルス感染症(変異株)の患者の発生について」がご覧になれます。

また、兵庫県立健康科学研究所 感染症部のホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/kansensho/> から、新型コロナウイルスに関する厚生労働省、国立感染症研究所、兵庫県の情報がご覧になれます。

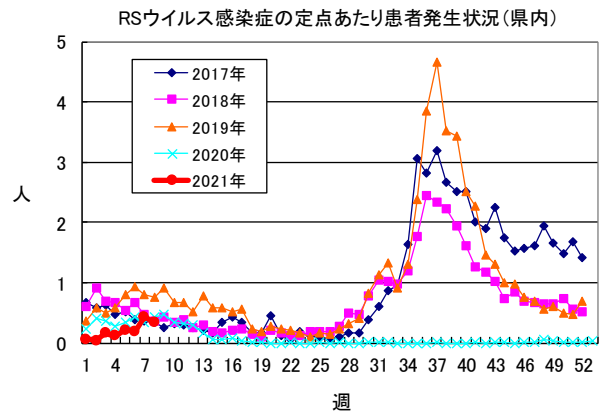
定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

定点あたり患者数は、例年に比べて少ない状況で推移しています。

感染性胃腸炎



RSウイルス感染症



施設・学校における感染症集団発生状況では、今週 1 件(先週 2 件)の集団発生が報告されています。

定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

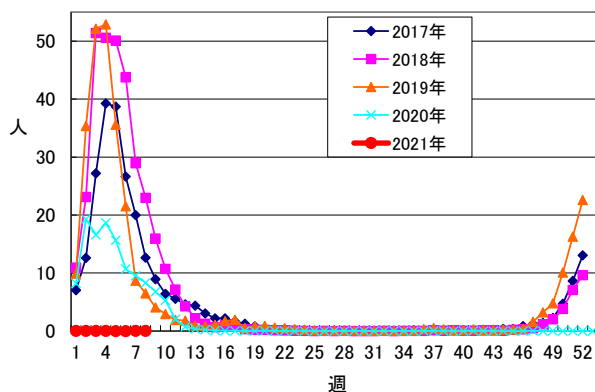
	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	2.95	4.33	-1.38	6位	流行性角結膜炎	0.09	0.26	-0.17
2位	RSウイルス感染症	0.33	0.43	-0.10	7位	水痘	0.05	0.07	-0.02
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.32	0.53	-0.21		流行性耳下腺炎	0.05	0.03	+0.02
4位	突発性発しん	0.25	0.25	±0.00	9位	手足口病	0.02	0.02	±0.00
5位	咽頭結膜熱	0.13	0.17	-0.04		ヘルパンギーナ	0.02	0.00	+0.02

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 12人 （保健所：西宮市2人、明石市1人、伊丹管内3人、宝塚管内1人、加古川管内2人、加東管内1人、豊岡管内1人、洲本管内1人）
3 類感染症	報告はありません。
4 類感染症	レジオネラ症 1人 （宝塚保健所管内；ポンティアック熱型；女性60歳代；感染地域：不明；感染経路：不明）
5 類感染症	<p>アメーバ赤痢 1人（尼崎市；腸管アメーバ症；男性40歳代；感染地域：タイ；感染経路：同性間性的接触）</p> <p>カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1人（洲本保健所管内；女性90歳代；<i>Klebsiella aerogenes</i>；感染地域：兵庫県；感染経路：手術部位感染）</p> <p>劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2人（①神戸市；女性90歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：創傷感染、②尼崎市；女性0歳；感染地域：兵庫県；感染経路：不明）</p> <p>侵襲性インフルエンザ菌感染症 1人（加古川保健所管内；女性1歳；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：4回有）</p> <p>梅毒 1人（宝塚保健所管内；早期顕症梅毒I期；女性20歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触）</p> <p>播種性クリプトコックス症 1人（宝塚保健所管内；男性70歳代；感染地域：不明；感染経路：不明）</p> <p>破傷風 1人（尼崎市；男性70歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：創傷感染；ワクチン接種歴：無）</p>
2021年第7週までに診断されたものの報告遅れ	<p>カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1人</p> <p>侵襲性肺炎球菌感染症 1人</p> <p>百日咳 1人</p>

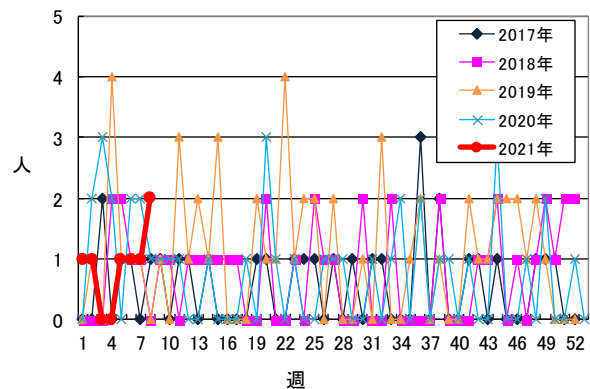
目で見える動向（県内）

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



定点あたり患者数は、例年に比べて少ない状況で推移しています。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症の週別患者数(県内)



今週2人の報告があり、今年の累積患者数は7人となりました。

この週報は兵庫県立健康科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html> から国立感染症研究所感染症疫学センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。